

<「わがクラブ」意識が高いクラブ事例>
二島コミュニティクラブ(山口県山口市)
~「手挙げ方式」が育む当事者意識~

1. 当事者意識を育む「手挙げ方式」の仕組み

(1) 会員や住民の意志による「手挙げ方式」のはじまり

二島(ふたじま)コミュニティクラブでは、指導者の「手挙げ方式」、すなわち「会員や住民自身が指導者として開催してみたい活動」を教室として設置・開催しています。

この手法を用いるきっかけとなったのは、クラブ設立前に当時の設立準備委員が、地域に向けてクラブ創設の広報と同時に指導者の募集を行ったことからです。創設時には1回の募集では多くの指導者を集めることが難しかったため、チラシや口コミによる募集を何度も行いました。その結果、設立時には文化活動を含んだ14の教室でクラブをスタートさせました。

設立から8年が経過した現在では18の教室が運営されており、それらすべてが地域の住民や会員の自発的な意志により指導者となった「手挙げ方式」によって活動しています。

(2) 「手挙げ方式」のルール

現在も広報により、新たな教室の指導者を募集しています。その際には、「現有する施設、用具などでその種目が活動可能であるかどうか」、「希望の活動日時とともに、すでに活動している種目と重複しないか」などの面を考慮して、新たにクラブに取り入れるかどうかを決めています。指導者はすべてボランティアでの活動ですが、指導者となった人が新たな教室を立案して複数の教室の指導者となったり、自らもクラブの会員として他の教室に参加したりするなど、指導者が楽しみながらクラブの運営に参画しています。

2. 会員の帰属意識を高めるいろいろな活動

(1) 継続率の高い、月1回の大人気イベント

二島コミュニティクラブでは、スポーツ以外にも文化活動や子ども向けの教室、イベントなど様々な活動に取り組んでいます

その中でも、「ちょっと歩こう秋穂 88 か所」では、月1回の開催で毎回70名から多い時には100名を超える参加者が活動しています。クラブのある秋穂二島地域には、約200年前から88か所巡拝できる札所があります。その88か所巡りをクラブの活動として取り組みたいという地元の住職の提案により、6年前から活動しています。

巡拝により地域の歴史を学ぶことができ、また参加者同士の



交流も深まり、さらに健康・体力づくりにも効果があることから、非常に人気があり、クラブを代表する教室の1つとなっています。

現在では五巡目に入ったにもかかわらず、一巡目から継続して参加している会員も多くいるなど、参加者数の減少がほとんどありません。

その他にも、小学校の学童保育と連携して、放課後に小学校の体育館を利用したバドミントン教室を開催するなど、多世代を対象に地域の实情に合った事業を展開しています。



(2) 人材や資源を掘り起こし地域に合った活動を

クラブを運営していく上で、魅力あるプログラムを提供することは非常に重要なことと言えます。そのような中で、地元の人材や地域資源を掘り起こして有効に活用したり、学童保育や学校との連携を行ったりすることが、会員に対し「わがクラブ」であるという意識を持たせることにつながると考えられます。つまり地域コミュニティに根ざした活動を行うことが、会員の帰属意識を高める方法であると言えます。

今後も、地元の人材や地域資源を掘り起こし地域の实情に合った活動を、地域コミュニティに根ざして展開することで「やめない会員」が増え、地域になくってはならない存在となり、長続きするクラブになっていくことを期待しています。

(中山祐太郎 山口県クラブ育成アドバイザー)

<ニ島コミュニティクラブ プロフィール>

1. 設立 年月：平成 15 年 4 月

経緯：学校週 5 日制に伴う地域住民による子どものためのサタデー教室の開催が基盤

2. 地域 対象人口：約 2,700 人 特性：山、海に囲まれた自然豊かな地域

3. クラブ 会員数：417 名 予算規模：年間予算約 90 万円。

特徴：クラブ名にもある通り地域（コミュニティ）にこだわった活動を展開している。指導者はすべて地元の有志でボランティアによって活動している。

4. 連絡先 〒754-0893 山口県山口市秋穂二島 6 1 4 2 - 1

TEL：080-3051-3278（事務局長 横沼利通）

E-mail：kox3@c-able.ne.jp

関連リンク：中山祐太郎氏プロフィール

<http://www.japan-sports.or.jp/local/outline/adviser/35.html>